

空き店舗数の解消に資する事例

【山梨県甲府市 人口：186,637人（令和4年度） 計画期間：平成26年11月～令和2年3月】

成果

【空き店舗数】

基準値 231 (H25) → **159** (H30)

事業概要

【空き店舗活用事業】

【小グループ自主的取組支援事業】

【まちなか不動産バンク事業】

空き店舗活用事業…従前の空き店舗対策事業を見直し、支援期間の延長や対象店舗及び対象経費の拡大等、制度の見直しにより効果的な空き店舗対策に取り組む。

小グループ自主的取組支援事業…小グループが行うファサード整備など、中心市街地の活性化に寄与する自主的取組を支援する。

まちなか不動産バンク事業…中心市街地の不動産の所有者や使用者の相談に応じる中、不動産の有効活用を図るとともに、その情報を登録して、積極的に情報発信することや所有者等に対するバンク登録への呼びかけを行うなど、最適なマッチングを行う。



＜空き店舗活用事業を活用し開業した店舗＞



＜空き物件見学会の様子＞

【活用した支援措置】

- ・中心市街地活性化ソフト事業（総務省）
（平成26年度～令和元年度）

取組のポイント

「まちなか不動産バンク事業」では、市のHPを通じた遊休不動産の登録と情報発信を行うとともに、合同会社まちづくり甲府と連携した取組として、専用サイトである「まちなか不動産バンクサポートセンター」において事業用物件を対象とした空き物件の紹介を行っている。

さらに登録先に関わらず、複数の空き店舗を同日に見学できる「空き物件見学会」の開催により、所有者と使用希望者のマッチングを行うとともに、専門家への相談対応も行うことで、登録件数86件、その内成約は51件の実績となっており、空き店舗の解消に寄与している。

【甲府市概要】

中心市街地約115ha

